第36回　全国少年柔道大会沖縄県予選要項

1 目　　的　　柔道の基本技能を正しく修得し、我が国の将来をになう心身ともに健康な小学生児童を育成するとともに、相互の親睦を図ることを目的とする。

2 主　　催　沖縄県柔道連盟

3 後　　援　沖縄県

4 期　　日　**平成28年3月12（土）13時00分　開会式**

5 会　　場　県立武道館第３錬成道場

6 参加資格　(1)チームは学校又は団体（道場）単位で２チームまで参加を認める。
(2)参加する選手は、平成28年3月現在、県下小学校に在籍する小学校４年生・５年生の男・女。但し４年生の補充として３年生をもって充てることもできる。
(3)出場するチーム（選手）は、平成27年度の（公財）全日本柔道連盟に登録をしていること。
(4)参加チームの監督は、平成27年度の（公財）全日本柔道連盟に指導者登録をしていること。
(5)選手は学校長又は団体責任者（道場主）の責任において参加させること。
(6)ゼッケン着用のこと。
(7)傷害保険に加入していること。
(8)少年5級以上を取得しているものとする。

7 チーム編成　(1)チームの人員は、監督１名、選手５名、補欠２名とする。
(2)選手の編成は、大将、副将、中堅は５年生。次鋒、先鋒は４年生（３年生も可）とし、学年順に配列する。但し、下学年の児童が上学年の児童の位置に出場することはできる。
また、選手は、各学年順に配列し、同学年内は「体重順」に配列すること。

8 試合方法　(1)試合はトーナメント法で行う。
(2)各チームの５名の点取り対抗戦とする。
(3)勝ち数の多いチームを勝ちとする。
(4)勝ち数が同じときは内容による。
(5)内容も同じときは代表戦を１回行い、必ず優劣を決する。
※代表戦は引き分けた者同士を再試合させる。
※引き分け者が複数いる場合は審判のくじ抽選により、対戦を決める。

9 審判規定　(1) 国際柔道連盟試合審判規定(2014年1月改正)及び少年規定によって行う。
(2) 高学年の部及び低学年の部とも団体戦でトーナメント方式。
(3)　試合時間は3分間
(4) 勝者数、内容が同数の場合は、代表戦を1回行い勝敗を決する。
(5)　勝敗の決定基準は「一本」「技有」「有効」「僅差」とする。
「僅差」とは、双方の技による評価(技有・有効)がない、または同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に「指導」が少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。
1差であれば「引き分け」とする。代表戦においては旗判定を行い勝敗を決する。
※代表戦は引き分けた者同士を再試合させる。
※引き分け者が複数いる場合は審判のくじ抽選により、対戦を決める。

10 参加料　１チーム　5,000円（２チーム目は、3,000円）

11 表　　彰　１位・２位・３位（２チーム）　賞状・副賞

12 派遣推薦　※優勝チームは全国大会（５月４、５日）へ派遣推薦する。

13 申し込み先及び期日　〒902-0077　那覇市長田2－5－31(101)アスリートクラブ琉球　内
申し込み〆切　平成28年2月26日（金）必着
連盟事務局長　伊志嶺 朝広まで　携帯　070-5691-9594
FAX　098－851－7186
アドレス　athlete-club-ryukyu1@joy.ocn.ne.jp
※申し込みは、原則 メールにてお願いします。(FAX・郵送可)

14 組　合　せ　少年部会本部抽選とする。

15 そ　の　他　**◎各チームから審判員を派遣してくださるようご協力お願いします。**
◎主催者は、傷病、紛失、その他の事故について応急処置を除き、一切の責任を負わない。